

与謝野町公共施設白書

施設カテゴリー編



都市公園

4 都市公園

その1 施設の概要

都市公園は岩滝地域内にある町有の公園のことを指します。岩滝地域は都市計画区域であることから、都市公園法に基づき都市公園を設置しています。その他の地区にも児童公園等の公園はありますが、岩滝地域の都市公園とは性質が異なるほか、町有か地元所有かが曖昧なため本白書では取り上げていません。

都市公園とは、国または地方公共団体が土地所有権等の権原を取得し、環境の保全、遊び場、防災等を目的とした都市施設として整備するものです。本町にある都市公園については、「街区公園」「地区公園」「風致公園」に分類されます。（公園種別の違いについては、参考事項にて紹介しています。）

なお、阿蘇シーサイドパークについても都市公園の地区公園に位置づけられていますが、規模が大きいため、このカテゴリーでは紹介していません。

【都市公園施設一覧】

施設名	所在地	面積 (㎡)		建築年	運営形態	公園種別
		敷地	延床			
男山八幡地区公園	男山	34,671.4㎡	64.4㎡	H4	直営	地区公園
城山風致公園	岩滝、弓木	986.0㎡	176.9㎡	S61	直営	風致公園
立町児童公園	岩滝	1,727.0㎡	6.1㎡	不明	直営	街区公園
大内児童公園	弓木	1,029.9㎡	19.2㎡	H15	直営	街区公園
弓木児童公園	岩滝	1,773.0㎡	12.5㎡	S49	直営	街区公園
石田児童公園	弓木	1,453.0㎡	9.0㎡	不明	直営	街区公園
阿蘇児童公園	男山	1,444.0㎡	6.2㎡	S57	直営	街区公園
男山児童公園	男山	2,124.0㎡	6.2㎡	S53	直営	街区公園
板列児童公園	岩滝	7,652.1㎡	55.8㎡	H13	直営	街区公園
		52,860.4㎡	356.3㎡			

※延床面積はトイレ、四阿（あずまや）等です。

【施設位置図】



【写真で見る都市公園】



男山八幡地区公園



城山風致公園



立町児童公園



石田児童公園



弓木児童公園



大内児童公園



阿蘇児童公園



男山児童公園



板列児童公園

その2 施設の物理的状況

① 老朽化の状況

耐用年数などのデータがないので、お示しできる情報はありません。

② 設備の状況

児童公園は一般的な遊具やトイレなどを備えています。男山八幡地区公園はグラウンドを、城山風致公園はテニスコートと弓道場を備えており、スポーツを楽しむこともできます。

【都市公園設備一覧】

施設名	設備の状況				
	運動設備	遊具	トイレ	その他	備考
男山八幡地区公園	グラウンド	複合遊具	○	パーゴラ等	
城山風致公園	テニスコート、弓道場	無	○	四阿	運動設備は他の章で紹介
立町児童公園	-	無	-	-	
大内児童公園	-	滑り台、ブランコ、鉄棒	○	砂場	
弓木児童公園	-	複合遊具、滑り台、ブランコ、鉄棒	○	四阿	
石田児童公園	-	滑り台、ブランコ、鉄棒	-	四阿	
阿蘇児童公園	-	ブランコ、鉄棒	○	砂場	
男山児童公園	-	滑り台、ブランコ、鉄棒	○	砂場	
板列児童公園	-	シーソー、ブランコ	○	四阿	

③ 防災の状況

男山八幡地区公園以外は避難所指定がないですが、地区で避難所にされている場合があります。

【都市公園防災状況】

施設名	避難所指定		警戒区域の指定		
	水害	地震	浸水想定区域	土砂災害（特別）警戒区域	
				急傾斜地の崩壊	土石流
男山八幡地区公園	○	○	-	警戒区域内	警戒区域内
城山風致公園	-	-	-	-	-
立町児童公園	-	-	0.5m未満	-	-
大内児童公園	-	-	-	-	-
弓木児童公園	-	-	0.5m未満	-	-
石田児童公園	-	-	-	-	警戒区域内
阿蘇児童公園	-	-	-	-	-
男山児童公園	-	-	-	-	-
板列児童公園	-	-	-	警戒区域内	警戒区域内

※避難所指定のない公園でも、地区で避難所にされている場合があります。

その3 施設の利用状況

男山八幡地区公園についてはグラウンドを有しており、地元の地区で貸出しをしています。年間利用人数は4,000人であり、主な利用用途は、野球、ソフトボール、グラウンド・ゴルフです。

城山風致公園については、テニスコート及び弓道場がありますが、それらは町の社会体育施設になりますので、その利用状況等については別のカテゴリーにて説明しています。

その他の公園については、街区公園として近隣住民の利用がありますが、利用人数等のデータは収集できていません。しかし、地区のイベント（祭り等）の会場として利用されている公園があるほか、板列児童公園については桜の名所として、春には町内外から来園者があります。

その4 コスト状況

① 管理・運営コスト

管理・運営面での年間コストは以下のとおりです。

【都市公園管理・運営コスト一覧】

(単位：千円)

項目	男山八幡地区公園	城山風致公園	立町児童公園	大内児童公園
賃金	0	0	0	0
光熱水費・燃料費	54	190	22	41
通信料・手数料	0	0	0	0
使用料・賃借料	0	500	0	0
消耗品費	3	3	3	3
備品購入費	0	0	0	0
賄・医薬材料費	0	0	0	0
修繕・維持補修費	0	4	0	13
委託料	107	501	0	95
指定管理料	0	0	0	0
その他	0	39	0	10
合計	164	1,237	25	162
項目	弓木児童公園	石田児童公園	阿蘇児童公園	男山児童公園
賃金	0	0	0	0
光熱水費・燃料費	21	18	49	85
通信料・手数料	0	0	0	0
使用料・賃借料	0	0	0	0
消耗品費	3	3	3	3
備品購入費	0	0	0	0
賄・医薬材料費	0	0	0	0
修繕・維持補修費	0	368	191	0
委託料	107	0	124	107
指定管理料	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	131	389	367	195

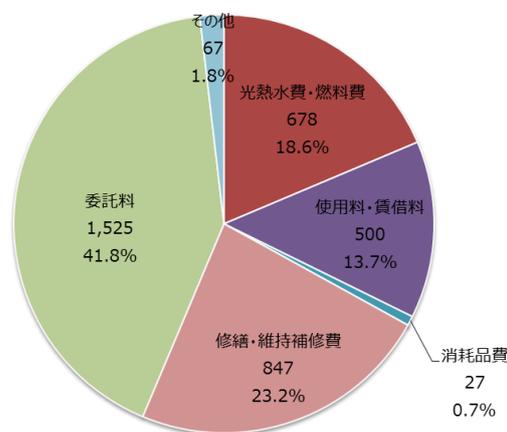
(単位：千円)

項目	板列児童公園	合計
賃金	0	0
光熱水費・燃料費	198	678
通信料・手数料	0	0
使用料・賃借料	0	500
消耗品費	3	27
備品購入費	0	0
賄・医薬材料費	0	0
修繕・維持補修費	271	847
委託料	484	1,525
指定管理料	0	0
その他	18	67
合計	974	3,644

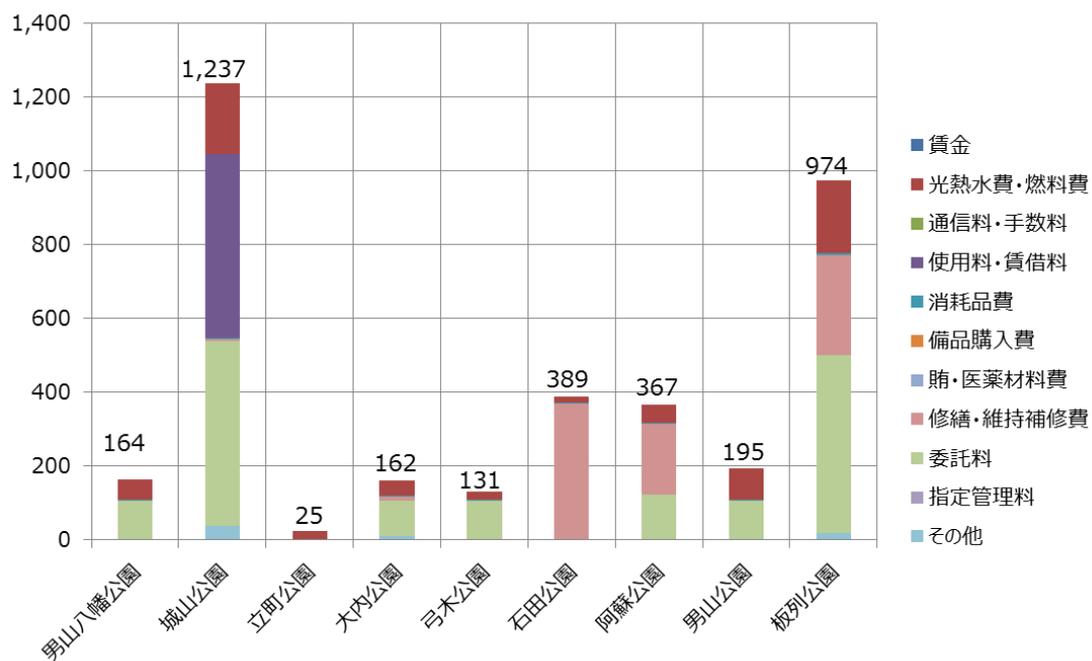
※平成25年度の実績額です。

【都市公園管理・運営コスト内訳グラフ① (単位：千円)】

委託料の割合が多くなっていますが、内容はトイレ清掃や維持管理の委託料です。城山風致公園は土地の賃借料も計上されています。



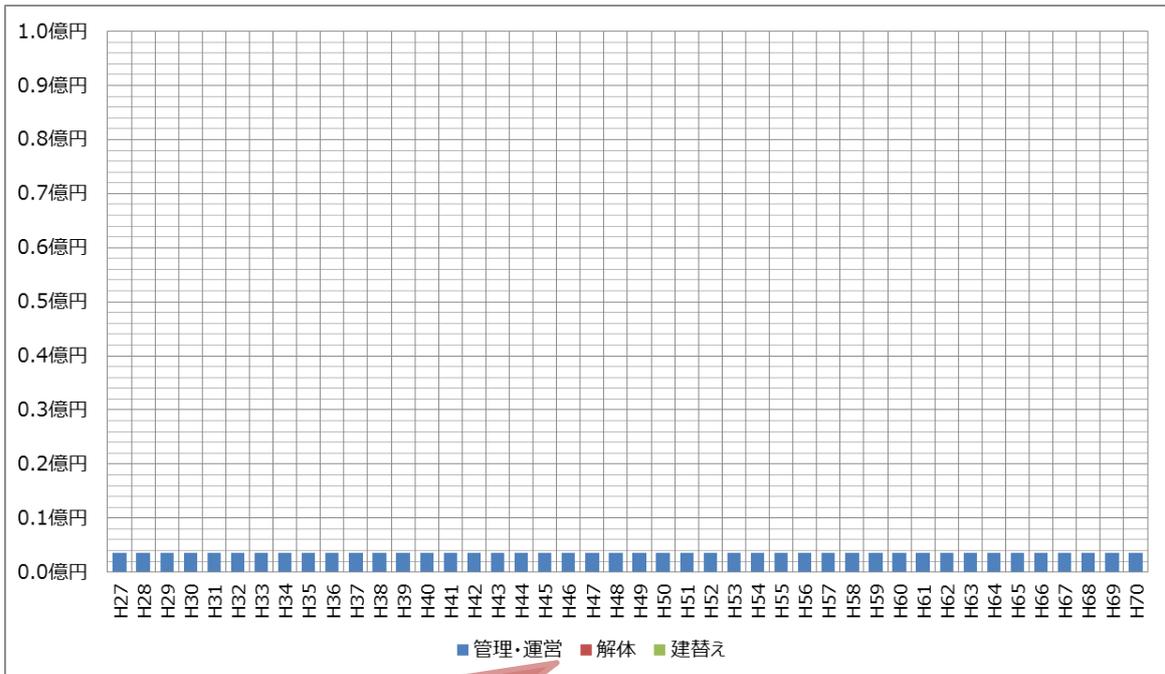
【都市公園管理・運営コスト内訳グラフ② (単位：千円)】



② 整備コスト（建替え・解体コスト）

基本的に都市公園を作り直すことは想定していません。都市公園の管理・運営コスト（平成 25 年度実績をベースに横置き）の推移は以下のとおりです。

【都市公園将来コスト推移表】



コスト総額約 1.6 億円（整備 0 億円、解体 0 億円、管理・運営 1.6 億円）

その5 まとめ

1 現状・課題

●利用状況

地域のみなさんの憩いの場、交流の場として活用されています。

●建物状況

それぞれにトイレや四阿（あずまや）がある程度です

●防災状況

全ての公園が避難所指定されています。

●コスト状況

都市公園の管理・運営コストを見てもみると年間約 360 万円支出しています。トイレ清掃や維持管理に

かかる委託料や光熱水費が大半を占めています。
整備コストについても作り直すことは想定しません。

●現状のまとめと今後の展望

都市公園は現状どおり管理・運営していくことになると考えられます。

その6 参考事項

■都市公園の種別

●街区公園

もっぱら街区に居住する者の利用に供することを目的とする公園で、誘致距離 250m の範囲内で 1 箇所当たり面積 0.25ha を標準として配置されます。

●地区公園

主として徒歩圏内に居住する者の利用に供することを目的とする公園で誘致距離 1km の範囲内で 1 箇所当たり面積 4ha を標準として配置されます。

●風致公園

動植物公園、歴史公園、墓園等の公園と合わせて特殊公園に分類されます。主として風致（自然の風景などのおもむき、味わい）の享受の用に供することを目的として配置されます。